

社会福祉法人悠人会 役員等報酬規程

(目的・意義)

第1条 本規程は、社会福祉法人悠人会(以下、「この法人」)の定款第8条及び第22条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬並びに費用弁償(以下「報酬等」)に関する必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 本規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 役員等とは、役員及び評議員をいう。
- (3) 評議員とは、定款第5条に基づき置かれるものをいう。
- (4) 報酬とは、社会福祉法第45条の3第1項の規定に基づく、職務執行上の財産上の利益をいう。
- (5) 費用とは、職務の執行に伴い発生する交通費・研修費・旅費(宿泊費を含む)等の経費であり、報酬とは区分される。

(報酬の支給)

第3条 この法人は、役員に職務執行の対価として報酬を支給することができる。

2 評議員には、定款8条で定める金額の範囲内で、報酬を支給することができる。

3 但し、この法人及び関係法人の職員の立場を有する役員等には、報酬を支給しない。

(報酬等の額の決定)

第4条 この法人の全理事の報酬総額は、年間180万円以内とする。

2 この法人の全監事の報酬総額は、年間100万円以内とする。

3 理事に対する報酬は、別記1のとおりとする。

4 監事に対する報酬は、別記2のとおりとする。

5 評議員に対する報酬は、別記3のとおりとする。

(費用弁償)

第5条 この法人は、役員及び評議員がその職務の執行に当たって負担した費用について、実費相当額を支給することができる。

(報酬等の支給日及び支給方法)

第6条 役員及び評議員に対する報酬等は、必要の都度、通貨で支払うものとする。

2 報酬等は、法令に基づき控除すべき金額を控除して支給する。

(公表)

第7条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1行第2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行う。

附 則

この規程は、平成29年6月21日（定時評議員会の議決日）より施行する。

○別記1 理事に対する報酬

理事会等への出席、或いは、理事長の命を受けて、法人及び施設の運営のための業務にあたった場合は、その都度、日額2万円（源泉徴収後）を支給する。

○別記2 監事に対する報酬

理事会及び評議員会の出席、或いは、法人及び施設の指導検査への立会及び運営状況の指導又は監査の業務にあたった場合は、その都度、特定監事は日額3万円（源泉徴収後）、監事は日額2万円（源泉徴収後）を支給する。

○別記3 評議員に対する報酬

評議員会への出席、或いは、理事長の命を受けて、法人及び施設の運営のための業務にあたった場合は、その都度、日額2万円（源泉徴収後）を支給する。